



令和5年度 袋井土木事務所長あいさつ



中東遠地域の皆様

4月に着任して、1ヶ月がたちました。
年度当初、職員には「現場に行く、現物を見る、そして現実を知る」の三現主義を実践する様、伝えております。

私自身も、できるだけ多くの現場に足を運び、工事の進捗や、それぞれの現場で抱えている課題などの把握に努めているところです。

事務所の中で、説明を受けた際には気付かなかった、現場周辺の状況や、工事の難かしさを肌で感じ「百聞は一見にしかず」を改めて実感しました。

職員一同、三現主義を実践して、住民に寄り添ったインフラ整備を心掛けて参りますので、引き続き工事へのご理解、ご協力をお願いいたします。

令和5年5月10日

所長 榊原正彦



令和5年4月24日
高知工科大学 佐藤教授とサンドバイパス現地視察

